

2013/10/18

柏の景気情報（平成25年9月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 経営支援二課
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18
TEL : 04-7162-3305
FAX : 04-7162-3323
URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>
E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成25年9月分）

○ 調査期間 : 平成25年9月24日 ~ 9月30日

○ 調査対象 : 柏市内157事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

| 調査産業 | 調査対象数 | 回答数 | 回収率 |
|------|-------|-----|-------|
| 全産業 | 157 | 93 | 59.2% |
| 建設 | 44 | 26 | 59.1% |
| 製造 | 34 | 18 | 52.9% |
| 卸・小売 | 43 | 32 | 74.4% |
| サービス | 36 | 17 | 47.2% |

○ 調査方法と調査表 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

| 質問事項 | 回答欄 | | | | | |
|-------------------|--------------------|---------|---------|-------------------------|---------|---------|
| | 前年同月と比較した 今月の水準 | | | 今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通し | | |
| a.売上高 (出荷高) | 1 増加 | 2 不変 | 3 減少 | 1 増加 | 2 不変 | 3 減少 |
| b.採算 (経常利益ベース) | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 |
| c.仕入単価 | 1 下落 | 2 不変 | 3 上昇 | 1 下落 | 2 不変 | 3 上昇 |
| d.従業員 | 1 不足 | 2 適正 | 3 過剰 | 1 不足 | 2 適正 | 3 過剰 |
| e.業況 | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 |
| f.資金繰り | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 |

質問B 業界内のトピック(記述式)

$$DI値 = 1 \text{ 増加他の回答割合} - 3 \text{ 減少他の回答割合}$$

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※ DI値と景気の概況

| DI ≥ 50 | 50 > DI ≥ 25 | 25 > DI ≥ 0 | 0 > DI ≥ ▲25 | ▲25 > DI |
|---------|--------------|-------------|--------------|----------|
| 特に好調 | 好調 | まあまあ | 不振 | 極めて不振 |

【平成25年9月の調査結果のポイント】

《業況DIは天候の影響・材料費値上げにより改善が見込まれず》

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲22.5(前月水準▲21.5)となり、マイナス幅が▲1.0ポイント拡大した。

業種別では、プラス幅が拡大した業種は、建設業▲7.6(同▲3.8)である。変らない業種は、サービス業▲17.6(同▲17.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、製造業▲22.2(同▲17.6)、卸小売業▲50.0(同▲45.4)である。

【建設業】からは「期待感はあるが、いまひとつ動きが鈍い感じがする。」(一般土木建築工事業)、「オリンピック開催地決定の影響か、消費税関係が駆け込み工事が増えている。」(一般土木建築工事業)、「発注時期と施工時期のずれがある為に採算が合わない。」(建築工事業)、「景気が良くなった感覚は無いが、省エネに関する問い合わせが多い。」(電気工事業)、「本来なら決算月である9月は忙しく、工期に合わせる為の段取り、人の手配が大変な月となっていたが、今年は例年にない9月だった。」(その他の識別工事業)、「ガードマンを確保しづらくなっている。全ての業者が忙しくなっているようでレンタル屋も忙しそうだ。」(土木工事業)、「熊本県産畳表を扱っている当社は「くまもん」人気にかなり助けられた部分があるので、柏のゆるキャラ「カシワニ」が2013ゆるキャラグランプリをとれるよう応援してます！」(内装工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは「福島原発関連の汚染水対策工事案件が出てきた。設備投資への熱も帯びてきた。」(特殊産業用機械)、「駆け込み需要が若干は予想されるが、事前準備するだけの人的な余裕も無く、そのための予算も確保していないため、悩ましいところである。」(その他の機械・同部品製造業)、「電力料、燃料等の価格上昇の影響が利益押し下げ要因。売上げについては堅調。」(酒類製造業)、「売上げはこの2~3年低位置での横ばい状態、利益幅は減少から脱することは出来ず、必要な設備投資は命取りとなる気がする。」(印刷業)、「10月は9月に比べ、受注が多いようです。」(その他の金属製品製造業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「下旬は気温の低下もあり、ジャケット・コートなどの重衣料の動きが活発化。」(百貨店)、「9月は3連休が2度あり行楽等にも消費され小売業績は年々悪くなっている、現状のままでは良くなる要素が見つかりません。」(時計・眼鏡・光学機械小売業)、「下半期は年度末へ向けて、駆け込み需要の見込み。」(その他の各種商品小売業)、「ここ数年一週間の内日曜日の売上が一番低い。近くの大型店は賑わっている。」(その他の各種商品小売業)、「一番影響のある、乳製品が値上がり傾向。」(菓子・パン小売業)、「今後も入荷減少から高値の取引見通しがあります。」(食料・飲料卸売業)、「はたして夏の大赤字をどこまで冬に埋め合わせが可能か、不安な年になりそうだ。」(燃料小売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「平日における売上げは減少しています。従業員(アルバイト等)確保、シフトがうまくない。」(酒場・ビヤホール)、「スポーツ団体を含め団体客が多く稼働を伸ばす。宴会は周年祝賀会を含め大型宴会の獲得により昨年及び予算達成。」(ホテル)、「ここに来て低価格品を求めめるお客様が増えつつある。衣替えの需要が出てきて少し明るい気配。」(その他の飲食料品小売業)、「9月は個人、法人とも苦戦。10月~12月は個人需要はほぼ前年通り。法人需要は11月が好調。年末年始の動向に注視したい。」(旅行業)、「仕入れ価格については上昇しています。逆に売価についてはまだ値下がりしています。何とか東京オリンピックも開催が決まったので、景気も上向いて欲しいと思います。」(不動産管理業)、「西口でも大きなマンションが3棟建ち、周辺の飲食や生活に必要な商売はチャンスだと思います。」(不動産賃貸業)、「持ち物件、賃貸住宅満室、空きテナント無しの状態が続いています。水道光熱費が上がったのを実感しています。」(不動産賃貸・管理業)などのコメントが寄せられた。

◎消費税

各業種から、「消費税増税の予測による変化は出ていない。」(電気工事業)、「設備投資のきっかけとして、消費税が上がる前にという声はちらほら聞こえはじめている。」(その他の機械・同部品製造業)、「消費税増税決定までの見極めムードあり。」(百貨店)、「消費税増税が決まって、住宅・自動車等への投資が増えているのか？」(時計・眼鏡・光学機械小売業)、「消費税増税もにらみ先行きが不透明。」(菓子・パン小売業)、「今後の懸念はやはり消費税と固定資産税の増加。」(不動産賃貸・管理業)、「消費税対策が大詰め出てきそう。」(ソフトウェア業)などのコメントが寄せられた。

◎天候の影響

各業種から、「天候による影響が多少あった。」(電気工事業)、「8月の猛暑の影響か工事の進行が遅く、前年迄の9月と違い慌しさの無い9月だった。」(その他の職別工事業)、「序盤好調に推移も、中旬3連休の台風による影響大。」(百貨店)、「衣料品では残暑が厳しく、ジャストシーズン購入傾向が多くみられ、秋物の動きが鈍く苦戦した。15、16日は台風の影響により入店客数、売上ともに大きく落ち込みをみせたものの、以降、朝晩の気温低下にともない秋物商材が動きだしたことから売上高は盛り返した。」(その他の各種商品小売業)、「悪天候の為、売上げがうまく行かなかった。」(各種食料品小売業)、「先般の日本列島を大型台風18号が上陸縦断した影響や急な朝晩の気温低下と天候不順の状況から、一部品薄の主要品目の入荷となり単価高で取引されています。」(食料・飲料卸売業)、「どこまで上がるかわからない仕入れ価格の上昇と夏の猛暑で使用量が落ち込み、例年以上苦しい。」(燃料小売業)などのコメントが寄せられた。

◎材料値上げ

各業種から、「石油(燃料)コスト上昇にて材料が値上げ状況。」(一般土木建築工事業)、「公共工事は増加しているが、内容的に資材の値上がりと納品が間に合わない。」(建築工事業)、「石油を材料とする製品の値上げが止まらない。」(その他の飲食料品小売業)などのコメントが寄せられた。

| | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸・小売 | サービス |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 4月 | ▲24.7 | ▲4.3 | ▲5.5 | ▲58.3 | △8.3 |
| 5月 | ▲18.6 | △12.5 | ▲27.7 | ▲51.5 | △12.5 |
| 6月 | ▲20.2 | ▲18.1 | △11.7 | ▲44.1 | ▲6.2 |
| 7月 | ▲17.2 | △3.8 | ▲23.5 | ▲41.6 | △14.2 |
| 8月 | ▲21.5 | △3.8 | ▲17.6 | ▲45.4 | ▲17.6 |
| 9月 | ▲22.5 | △7.6 | ▲22.2 | ▲50.0 | ▲17.6 |
| 見通し | ▲8.6 | △15.3 | ▲11.1 | ▲31.2 | ±0.0 |

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【平成25年9月の業況についての状況】

○ 9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲22.5(前月水準▲21.5)となり、マイナス幅が▲1.0ポイント拡大した。

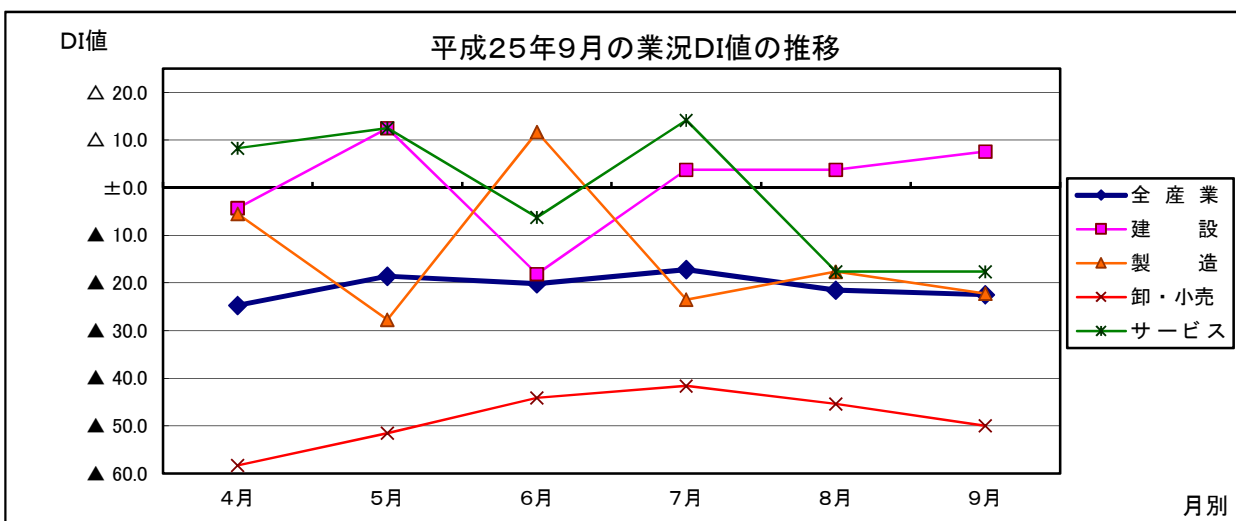
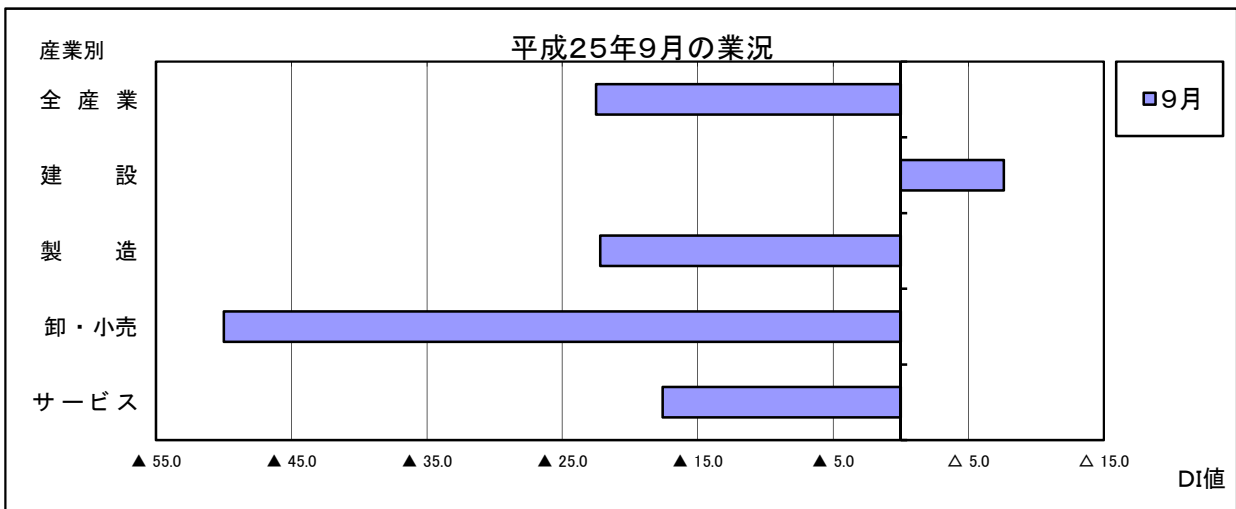
業種別では、プラス幅が拡大した業種は、建設業△7.6(同△3.8)である。変らない業種は、サービス業▲17.6(同▲17.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、製造業▲22.2(同▲17.6)、卸小売業▲50.0(同▲45.4)である。

○ 向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲8.6(前月水準△1.0)となり、マイナス幅が▲9.6ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、変らない見通しの業種は、サービス業±0.0(同±0.0)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、建設業△15.3(同△23.0)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、製造業▲11.1(同△5.8)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲31.2(同▲18.1)である。

平成25年9月業況DI値(前年同月比)の推移

| | 平成25年 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 先行き見通し 10月~12月(9月~11月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
| 全産業 | ▲24.7 | ▲18.6 | ▲20.2 | ▲17.2 | ▲21.5 | ▲22.5 | ▲8.6(△1.0) |
| 建設 | ▲4.3 | △12.5 | ▲18.1 | △3.8 | △3.8 | △7.6 | △15.3(△23.0) |
| 製造 | ▲5.5 | ▲27.7 | △11.7 | ▲23.5 | ▲17.6 | ▲22.2 | ▲11.1(△5.8) |
| 卸・小売 | ▲58.3 | ▲51.5 | ▲44.1 | ▲41.6 | ▲45.4 | ▲50.0 | ▲31.2(▲18.1) |
| サービス | △8.3 | △12.5 | ▲6.2 | △14.2 | ▲17.6 | ▲17.6 | ±0.0(±0.0) |



【平成25年9月の売上についての状況】

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲13.9(前月水準▲19.3)となり、マイナス幅が5.4ポイント縮小した。

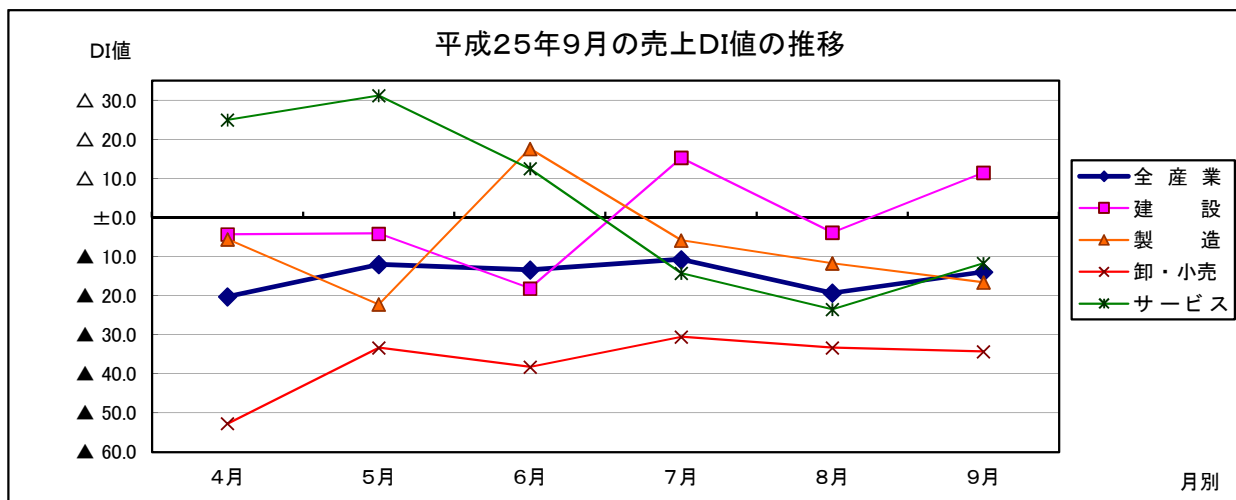
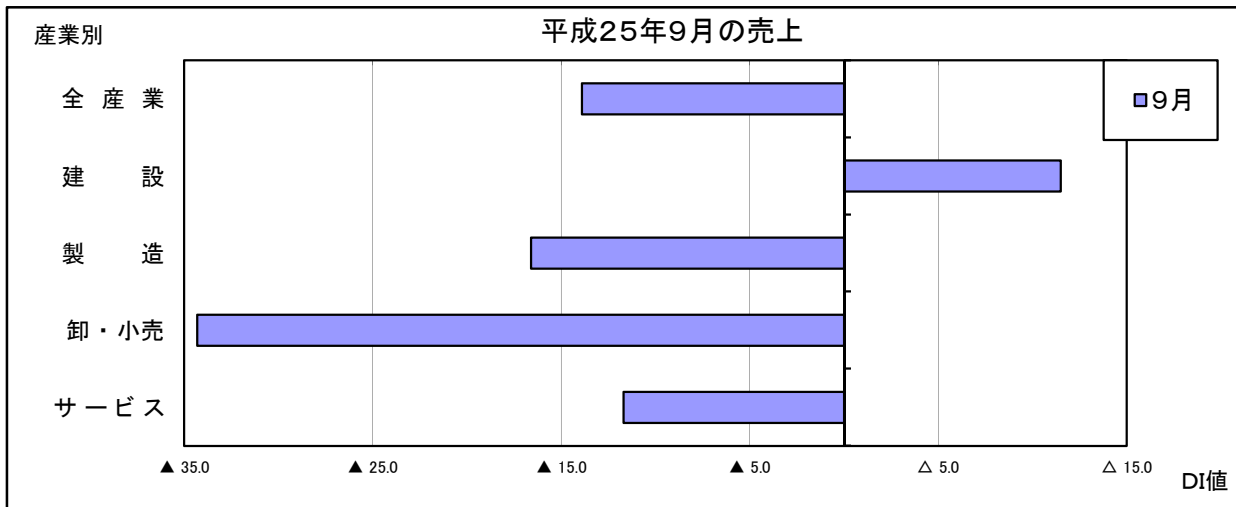
業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じた業種は、建設業△11.5(同▲3.8)である。マイナス幅が縮小した業種は、サービス業▲11.7(同▲23.5)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲16.6(同▲11.7)、卸小売業▲34.3(同▲33.3)である。

○向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、△3.2(前月水準△8.6)となり、プラス幅が▲5.4ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲15.6(同▲18.1)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業△11.1(同△23.5)、建設業△26.9(同△38.4)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、サービス業▲5.8(同±0.0)である。

平成25年9月の売上DI値(前年同月比)の推移

| | 平成25年 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 先行き見通し 10月~12月(9月~11月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
| 全産業 | ▲20.2 | ▲12.0 | ▲13.4 | ▲10.7 | ▲19.3 | ▲13.9 | △3.2(△8.6) |
| 建設 | ▲4.3 | ▲4.1 | ▲18.1 | △15.3 | ▲3.8 | △11.5 | △26.9(△38.4) |
| 製造 | ▲5.5 | ▲22.2 | △17.6 | ▲5.8 | ▲11.7 | ▲16.6 | △11.1(△23.5) |
| 卸・小売 | ▲52.7 | ▲33.3 | ▲38.2 | ▲30.5 | ▲33.3 | ▲34.3 | ▲15.6(▲18.1) |
| サービス | △25.0 | △31.2 | △12.5 | ▲14.2 | ▲23.5 | ▲11.7 | ▲5.8(±0.0) |



【平成25年9月の採算についての状況】

○ 9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲27.9(前月水準▲32.2)となり、マイナス幅が△4.3ポイント縮小した。

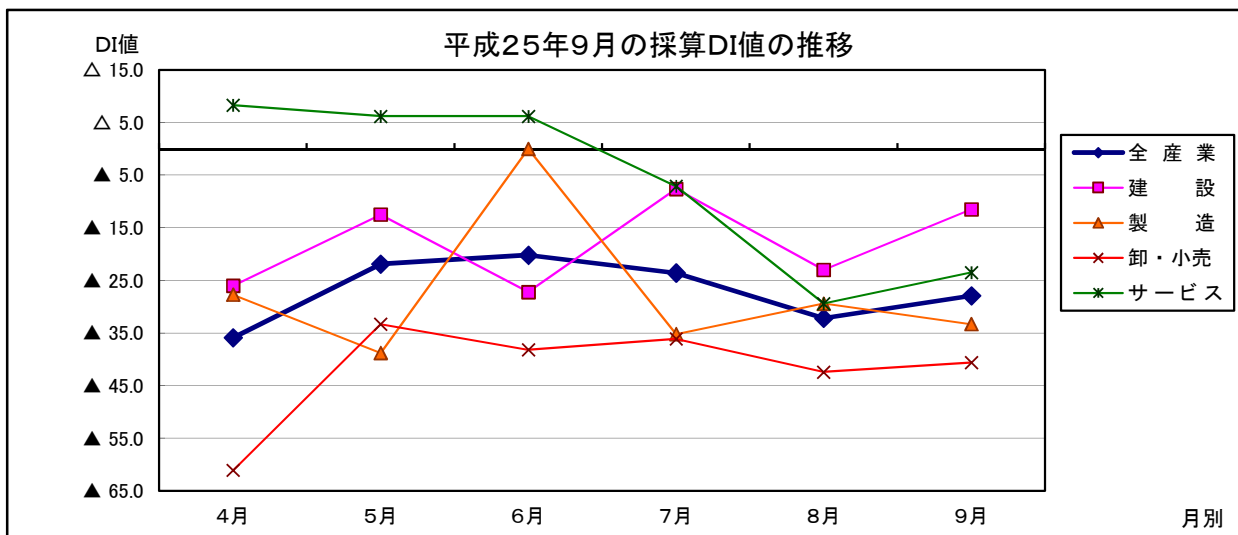
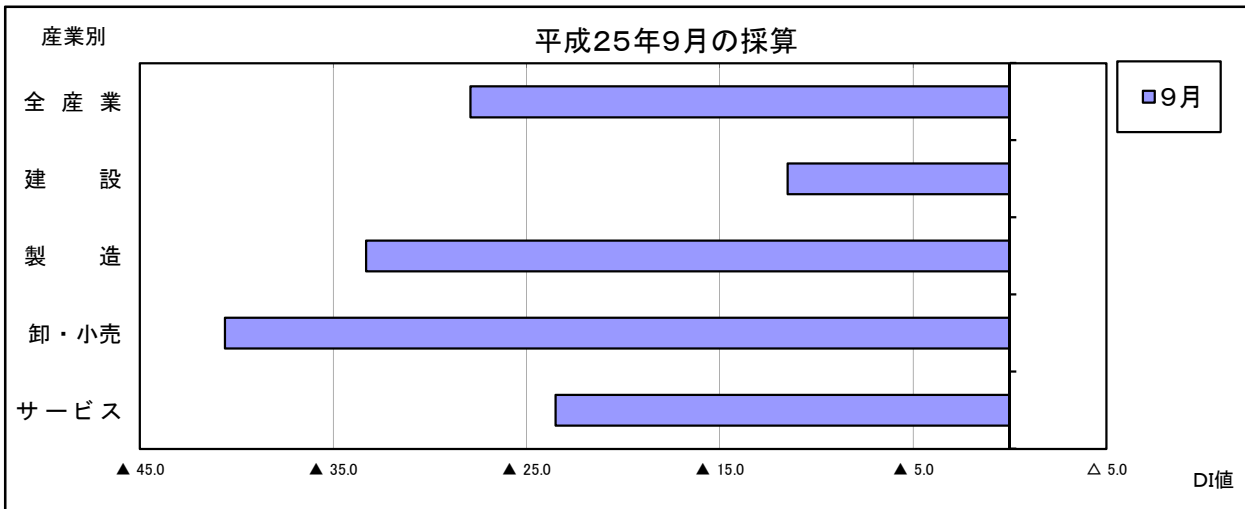
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲11.5(同▲23.0)、サービス業▲23.5(同▲29.4)、卸小売業▲40.6(同▲42.4)である。マイナス幅が拡大した業種は、製造業▲33.3(同▲29.4)である。

○ 向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲15.0(前月水準▲11.8)となり、マイナス幅が▲3.2ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲31.2(同▲36.3)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲3.8(同△7.6)、製造業▲5.5(同±0.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業▲11.7(同▲5.8)である。

平成25年9月の採算DI値(前年同月比)の推移

| | 平成25年 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 先行き見通し 10月~12月(9月~11月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
| 全産業 | ▲35.9 | ▲21.9 | ▲20.2 | ▲23.6 | ▲32.2 | ▲27.9 | ▲15.0(▲11.8) |
| 建設 | ▲26.0 | ▲12.5 | ▲27.2 | ▲7.6 | ▲23.0 | ▲11.5 | ▲3.8(△7.6) |
| 製造 | ▲27.7 | ▲38.8 | ±0.0 | ▲35.2 | ▲29.4 | ▲33.3 | ▲5.5(±0.0) |
| 卸・小売 | ▲61.1 | ▲33.3 | ▲38.2 | ▲36.1 | ▲42.4 | ▲40.6 | ▲31.2(▲36.3) |
| サービス | △8.3 | △6.2 | △6.2 | ▲7.1 | ▲29.4 | ▲23.5 | ▲11.7(▲5.8) |



【平成25年9月の仕入単価についての状況】

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲51.6(前月水準▲46.2)となり、マイナス幅が▲5.4ポイント拡大した。

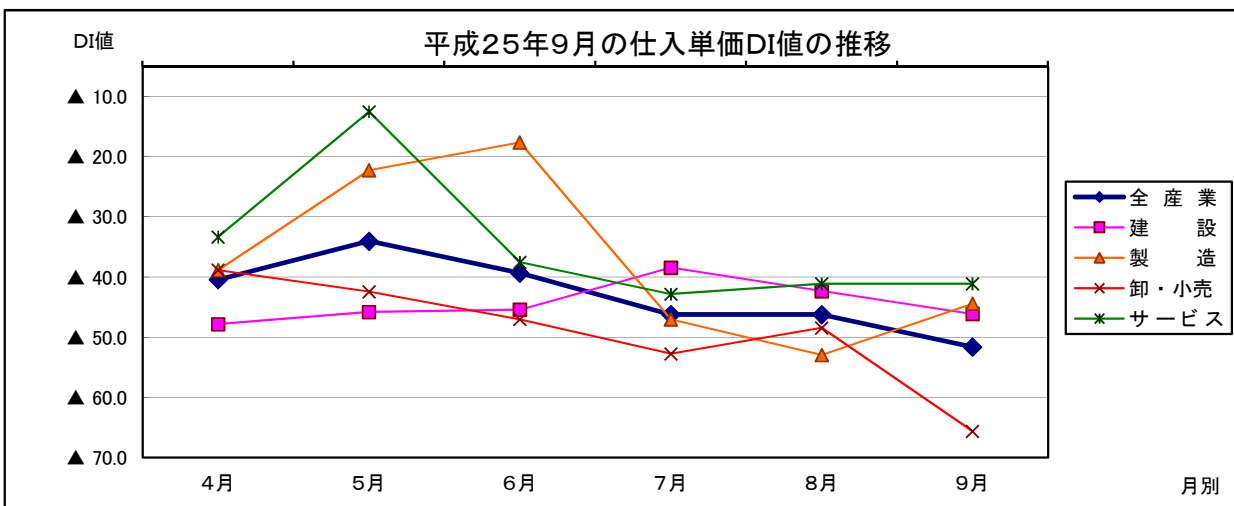
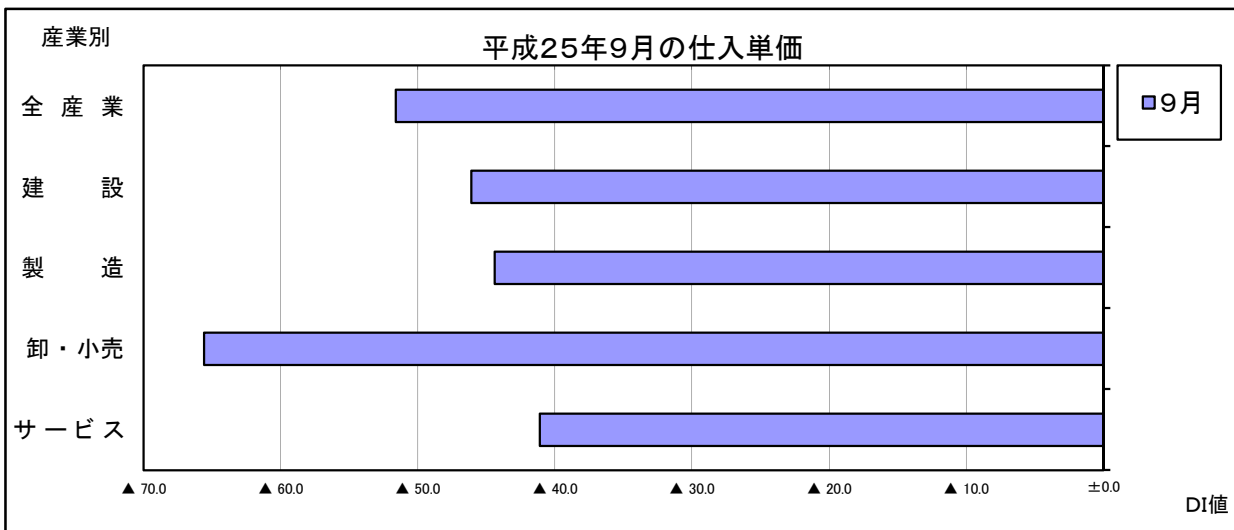
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、製造業▲44.4(同▲52.9)である。変らない業種は、サービス業▲41.1(同▲41.1)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲65.6(同▲48.4)、建設業▲46.1(同▲42.3)である。

○向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲44.0(前月水準▲37.6)となり、マイナス幅が▲6.4ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、サービス業▲29.4(同▲35.2)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲42.3(同▲23.0)、製造業▲38.8(同▲29.4)、卸小売業▲56.2(同▲54.5)である。

平成25年9月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

| | 平成25年 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 先行き見通し 9月~11月(8月~10月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------------------|
| 全産業 | ▲40.4 | ▲34.0 | ▲39.3 | ▲46.2 | ▲46.2 | ▲51.6 | ▲44.0(▲37.6) |
| 建設 | ▲47.8 | ▲45.8 | ▲45.4 | ▲38.4 | ▲42.3 | ▲46.1 | ▲42.3(▲23.0) |
| 製造 | ▲38.8 | ▲22.2 | ▲17.6 | ▲47.0 | ▲52.9 | ▲44.4 | ▲38.8(▲29.4) |
| 卸・小売 | ▲38.8 | ▲42.4 | ▲47.0 | ▲52.7 | ▲48.4 | ▲65.6 | ▲56.2(▲54.5) |
| サービス | ▲33.3 | ▲12.5 | ▲37.5 | ▲42.8 | ▲41.1 | ▲41.1 | ▲29.4(▲35.2) |



【平成25年9月の従業員についての状況】

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△2.1(前月水準▲2.1)となり、プラス幅が△4.2ポイント拡大した。

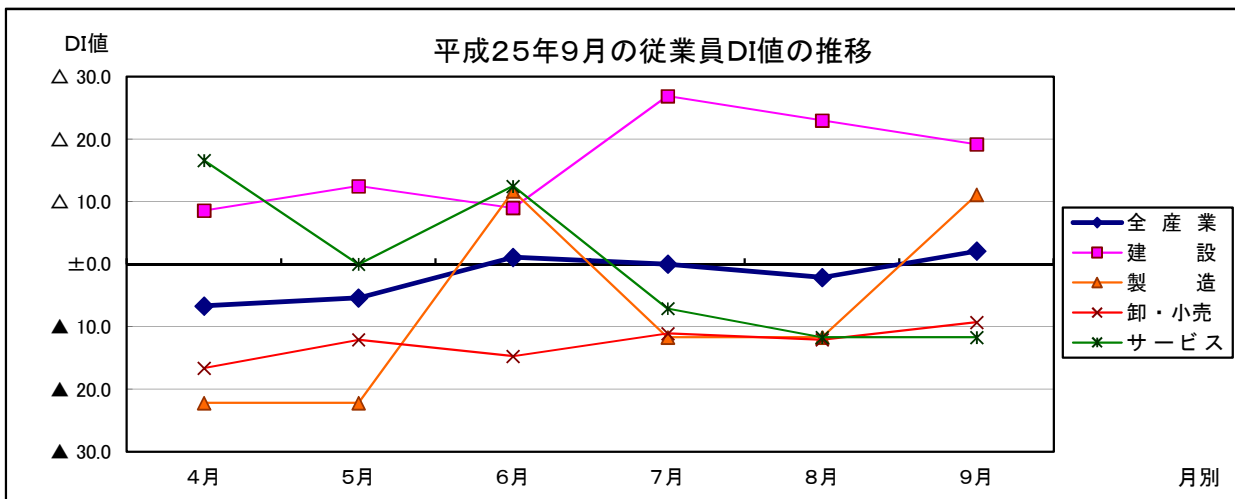
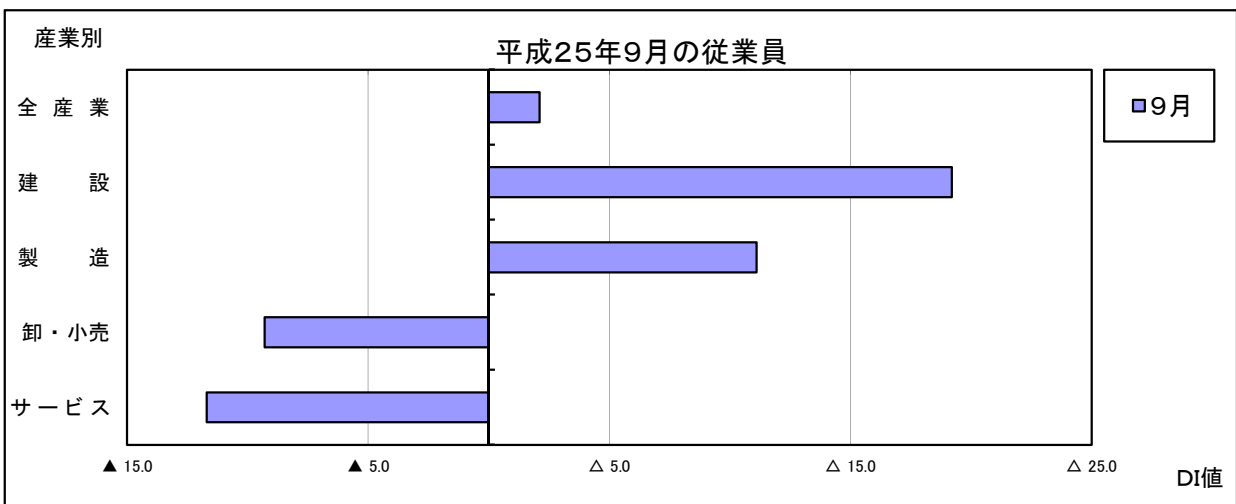
業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じた業種は、製造業△11.1(同▲11.7)であり、プラス幅が△22.8ポイントと大幅に拡大した。マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲9.3(同▲12.1)である。変らない業種は、サービス業▲11.7(同▲11.7)である。プラス幅が縮小した業種は、建設業△19.2(同△23.0)である。

○向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、△9.6(前月水準△5.3)となり、プラス幅が△4.3ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業△5.5(同±0.0)、建設業△30.7(同△26.9)である。マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、幅の大きい順にサービス業±0.0(同▲5.8)、卸小売業±0.0(同▲3.0)である。

平成25年9月の従業員DI値(前年同月比)の推移

| | 平成25年 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 先行き見通し 10月~12月(9月~11月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
| 全産業 | ▲6.7 | ▲5.4 | △1.1 | ±0.0 | ▲2.1 | △2.1 | △9.6(△5.3) |
| 建設 | △8.6 | △12.5 | △9.0 | △26.9 | △23.0 | △19.2 | △30.7(△26.9) |
| 製造 | ▲22.2 | ▲22.2 | △11.7 | ▲11.7 | ▲11.7 | △11.1 | △5.5(±0.0) |
| 卸・小売 | ▲16.6 | ▲12.1 | ▲14.7 | ▲11.1 | ▲12.1 | ▲9.3 | ±0.0(▲3.0) |
| サービス | △16.6 | ±0.0 | △12.5 | ▲7.1 | ▲11.7 | ▲11.7 | ±0.0(▲5.8) |



【平成25年9月の資金繰りについての状況】

○9月の全産業計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲15.0(前月水準▲17.2)となり、マイナス幅が▲2.2ポイント縮小した。

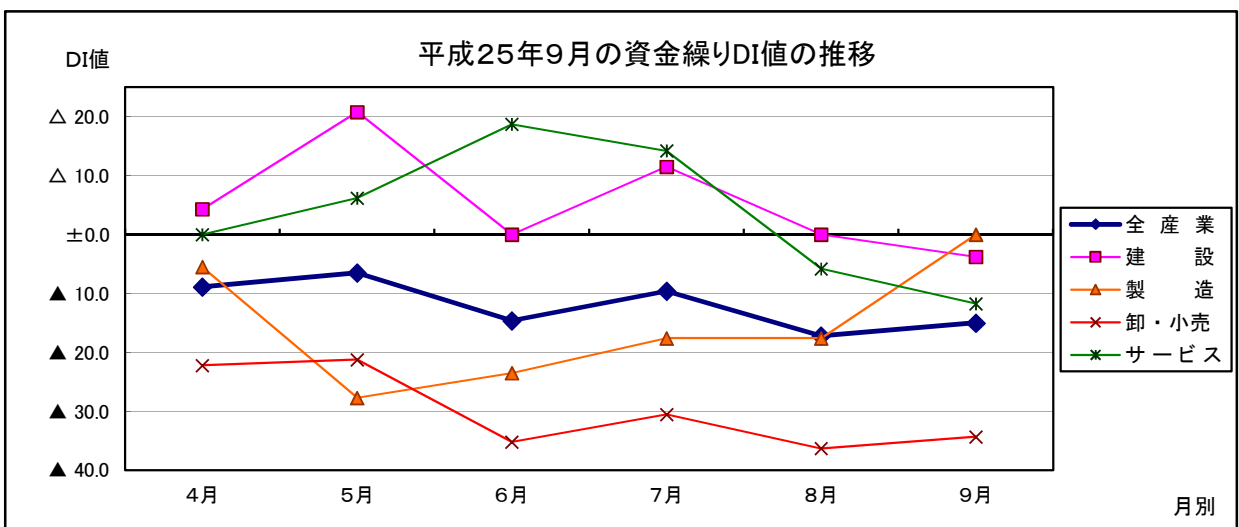
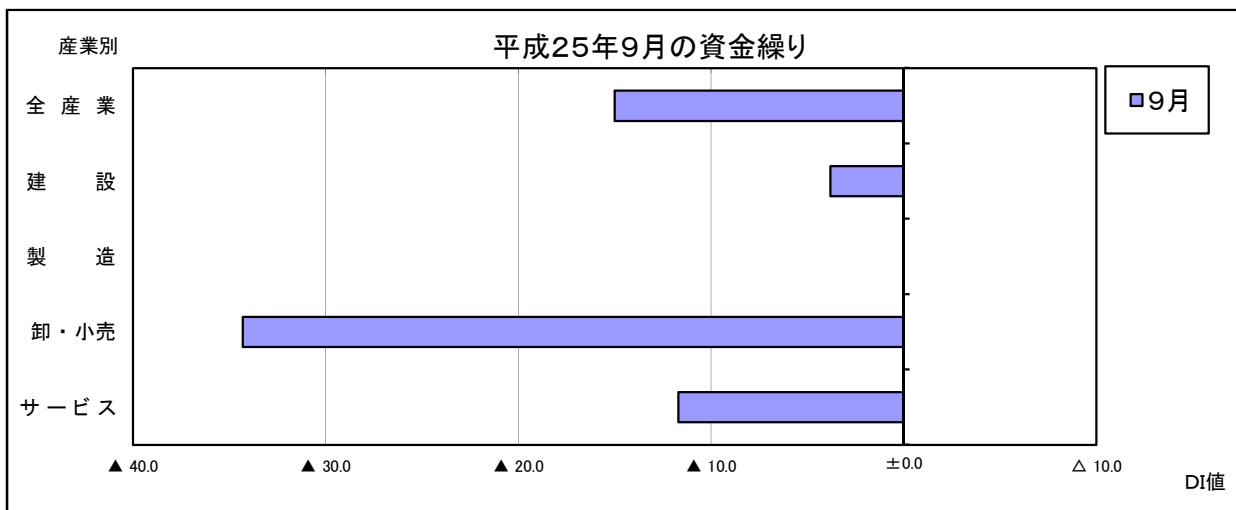
業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じた業種は、製造業±0.0(同▲17.6)である。マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲34.3(同▲36.3)である。プラスからマイナスに転じた業種は、建設業▲3.8(同±0.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、サービス業▲11.7(同▲5.8)である。

○向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲7.5(前月水準▲7.5)となり、変わらない見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲21.8(同▲24.2±)、製造業▲11.1(同▲11.7)である。変らない見通しの業種は、サービス業△5.8(同△5.8)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、建設業△3.8(同△7.6)である。

平成25年9月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

| | 平成25年 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 先行き見通し 10月~12月(9月~11月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
| 全産業 | ▲8.9 | ▲6.5 | ▲14.6 | ▲9.6 | ▲17.2 | ▲15.0 | ▲7.5(▲7.5) |
| 建設 | △4.3 | △20.8 | ±0.0 | △11.5 | ±0.0 | ▲3.8 | △3.8(△7.6) |
| 製造 | ▲5.5 | ▲27.7 | ▲23.5 | ▲17.6 | ▲17.6 | ±0.0 | ▲11.1(▲11.7) |
| 卸・小売 | ▲22.2 | ▲21.2 | ▲35.2 | ▲30.5 | ▲36.3 | ▲34.3 | ▲21.8(▲24.2) |
| サービス | ±0.0 | △6.2 | △18.7 | △14.2 | ▲5.8 | ▲11.7 | △5.8(△5.8) |



【DI値集計表】

| | 売上高(受注・出荷) | | 採算 | | 仕入単価 | | 従業員 | |
|------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き |
| 全業種 | ▲ 13.9 | △ 3.2 | ▲ 27.9 | ▲ 15.0 | ▲ 51.6 | ▲ 44.0 | △ 2.1 | △ 9.6 |
| 建設 | △ 11.5 | △ 26.9 | ▲ 11.5 | ▲ 3.8 | ▲ 46.1 | ▲ 42.3 | △ 19.2 | △ 30.7 |
| 製造 | ▲ 16.6 | △ 11.1 | ▲ 33.3 | ▲ 5.5 | ▲ 44.4 | ▲ 38.8 | △ 11.1 | △ 5.5 |
| 卸・小売 | ▲ 34.3 | ▲ 15.6 | ▲ 40.6 | ▲ 31.2 | ▲ 65.6 | ▲ 56.2 | ▲ 9.3 | ±0.0 |
| サービス | ▲ 11.7 | ▲ 5.8 | ▲ 23.5 | ▲ 11.7 | ▲ 41.1 | ▲ 29.4 | ▲ 11.7 | ±0.0 |

| | 業況 | | 資金繰り | |
|------|--------|--------|--------|--------|
| | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き |
| 全業種 | ▲ 22.5 | ▲ 8.6 | ▲ 15.0 | ▲ 7.5 |
| 建設 | △ 7.6 | △ 15.3 | ▲ 3.8 | △ 3.8 |
| 製造 | ▲ 22.2 | ▲ 11.1 | ±0.0 | ▲ 11.1 |
| 卸・小売 | ▲ 50.0 | ▲ 31.2 | ▲ 34.3 | ▲ 21.8 |
| サービス | ▲ 17.6 | ±0.0 | ▲ 11.7 | △ 5.8 |

【平成25年9月の業種別業界内トピックス】

| 業種別 | 概況 | | 業種 |
|---|--|---|------------------------|
| 建設業 | 期待感はあるが、いまひとつ動きが鈍い感じがする。 オリンピック開催地決定の影響か、消費税関係が駆け込み工事が増えて いる。石油(燃料)コスト上昇にて材料が値上げ状況 | 先行き期待 オリンピック 消費税 駆け込み工事 材料値上げ | 一般土木建築工事業 一般土木建築工事業 |
| | 公共工事は増加しているが、内容的に資材の値上がりと納品が間に合わ ない。発注時期と施工時期のずれがある為に採算が合わない。民間の場 合はこちらのペースで仕事が進行するので大丈夫だが、リフォーム工事 が出てきていて売上げ的にはのびているが、社員のベースアップ迄は程 遠い現状です。大手企業の下請としても単価は逆に下がっている。 | 公共工事増加 材料値上げ 不採算 リフォーム工事 ベースアップ 下請単価減少 | 建築工事業 |
| | 消費税増税の予測による変化は出ていない。天候による影響が多少あつ た。景気が良くなった感覚は無いが、省エネに関する問い合わせが多い。 | 消費税 天候の影響 景気回復感無し 省エネ | 電気工事業 |
| | 受注先の半期の決算月である9月なのに、忙しさは感じられなかった。8月 の猛暑の影響か工事の進行が遅く、前年迄の9月と違い慌しさの無い9月 だった。本来なら決算月である9月は12月・3月と共に忙しく、工期に間に 合わせる為の段取り、人の手配が大変な月となっていたが、今年は例年 にない9月だった。熱中症・近隣対策等で無理な工程が取れない影響か とも思われる。ただ、その分今後の工期の押し寄せが懸念されるが景気 の回復感はなく感じられない。 | 決算月 天候の影響 熱中症 景気回復感無し | その他の職別工事業 |
| | ガードマンを確保しづらくなっている。全ての業者が忙しくなっているよう でレンタル屋も忙しそうだ。 | ガードマン確保困難 | 土木工事業 |
| | 熊本県産量表を扱っている当社は「くまもん」人気にかなり助けられた部 分があるので、柏のゆるキャラ「カンワニ」が「2013ゆるキャラグランプリ」 をとれるよう応援してます！ | ゆるキャラ | 内装工事業 |
| 製造業 | 福島原発関連の汚染水対策工事件件が出てきた。設備投資への熱も帯 びてきた。 | 福島原発 汚染水対策 設備投資 | 特殊産業用機械 |
| | 設備導入のきっかけとして、「消費税が上がる前に」という声がちらほら聞 こえはじめている。駆け込み需要が若干は予想されるが、事前準備する だけの人的な余裕も無く、そのための予算も確保していないため、悩まし いところである。毎度の事ながら、短期対応が迫られる可能性大。 | 消費税 駆け込み需要 短期納品 | その他の機械・同部品製造業 |
| | 電力料、燃料等の価格上昇の影響が利益押し下げ要因。売上については 堅調。 | 燃料価格上昇 利益押し下げ 売上げ堅調 | 酒類製造業 |
| | 売上はこの2～3年低位置での横ばい状態、利益幅は減少から脱すること 出来ず、必要な設備投資は命取りとなる気がする。現状維持に努力す る。 10月は9月に比べ、受注が多いようです。 | 売上げ停滞 利益減少 現状維持 受注増加 | 印刷業 その他の金属製品製造業 |
| | 序盤好調に推移も、中旬3連休の台風による影響大。下旬は気温の低下 もあり、ジャケット、コートなど重衣料の動きが活発化。高額品については 宝飾・時計のトレンドダウン、消費増税決定までの見極めムードあり。 | 天候の影響 重衣料活発 高額品減少 消費税 見極めムード | 百貨店 |
| 消費税増が決まって、住宅・自動車等への投資が増えているのか？9月 は3連休が2度あり行楽等にも消費され小売業績は年々悪くなっている、 現状のままでは良くなる要素が見つかりません。 | 消費税 連休 小売悪化 | 時計・眼鏡・光学機械小売業 | |

【平成25年9月の業種別業界内トピックス】

| | | | |
|---|---|---|-------------|
| 卸小売業 | 9月度は、イベントの時期ズレにより売上高は前年を上回る推移となったが、衣料品では残暑が厳しく、ジャストシーズン購入傾向が多くみられ、秋物の動きが鈍く苦戦した。15、16日は台風影響により入店客数、売上ともに大きく落ち込みをみせたものの、以降、朝晩の気温低下にともない秋物商材が動きだしたことから売上高は盛り返した。9/25からは新館開業5周年記念イベントを開催、限定商品やプレゼントキャンペーンなど購買意欲を高める販促などを実施。告知を強化して集客及び売上に繋げていく。 | 売上げ好調 天候の影響 秋物衣料 限定商品 キャンペーン 購買意欲 告知を強化 | その他の各種商品小売業 |
| | 下半期は年度末へ向けて、駆け込み需要の見込み。 | 駆け込み需要 | その他の各種商品小売業 |
| | 悪天候の為、売上がうまく行かなかった。5月に出来た競合店の影響はなくなってきたと思う。 | 天候の影響 競合店 | 各種食料品小売業 |
| | 例年、9月半ばを過ぎれば伸びてくるのだが、今年は伸びが鈍い。来年の消費税増税にもらみ先行きが不透明。 | 消費税 先行きが不透明 | 菓子・パン小売業 |
| | ここ数年一週間の内日曜日の売上が一番低い。近くの大型店は賑わっている。8月に導入したコーヒーマシンのレギュラーコーヒー(100円)は良く売れている。 | 休日売上げ低下 大型店好調 | その他の各種商品小売業 |
| | 一番影響のある、乳製品が値上がり傾向 | 乳製品値上げ | 菓子・パン小売業 |
| | 先般の日本列島を大型台風18号が上陸縦断した影響や急な朝晩の気温低下と天候不順の状況から、一部品薄の主要品目の入荷となり単価高で取引されています。今後も入荷減少から高値の取引見通しがあります。秋の季節はイベントが多くなりますので、市場として需要と供給のバランスの取れた入荷を全国から集荷し、買出し人に応えられる努力をもって販売にあたります。 | 天候の影響 品薄 単価上昇 イベント | 食料・飲料卸売業 |
| どこまで上がるかわからない仕入れ価格の上昇と夏の猛暑で使用量が落ち込み、例年以上苦しい。はたして夏の大赤字をどこまで冬に埋め合わせが可能か、不安な年になりそうだ。 | 仕入れ価格上昇 天候の影響 売上げ悪化 | 燃料小売業 | |
| サービス業 | 平日における売上げは減少しています。週末に集中しております。従業員(アルバイト等)確保、シフトがうまくない。アルバイトの時給を新規見直しして上昇させている。 | 平日売上げ減少 人員確保困難 時給上昇 | 酒場・ピヤホール |
| | 宿泊は一室単価は落ちたものの昨年対比でも稼働を大きく伸ばす事が出来、売上げ及び利益に貢献。スポーツ団体(Jリーグ)を含め団体客が多く稼働を伸ばす。宴会は周年祝賀会を含め大型宴会の獲得により昨年及び予算達成。 | 単価下落 売上げ増加 団体客 大型宴会 | ホテル |
| | 石油を材料とする製品の値上げが止まらない。販売価格に転嫁できない。(当社の場合、靴・カバン・ベルト・合羽等)収益悪化。ここに来て低価格品を求めるお客様が増えつつある。衣替えの需要がでてきて少し明るい気配。 | 原材料値上げ 価格転嫁 収益悪化 低価格品 衣替え 需要増加 | その他の飲食料品小売業 |
| | 9月は個人、法人とも苦戦。10月～12月は個人需要はほぼ前年通り。法人需要は11月が好調。年末年始の動向に注視したい。 | 個人・法人とも苦戦 | 旅行業 |
| | 仕入れ価格については上昇しています。逆に売価についてはまだ値下がりがしています。何とか東京オリンピックも開催が決まったので、景気も上向いて欲しいと思います。 | 仕入れ価格上昇 売価下落 オリンピック 景気に期待 | 不動産管理業 |
| | 西口でも大きなマンションが3棟建ち、周辺の飲食や生活に必要な商売はチャンスだと思いますので、会議所の融資等もアピールする時だと思います。 | マンション建設 商売のチャンス | 不動産賃貸業 |
| | 持ち物件、賃貸住宅満室、空きテナント無しが続いていますが、水道光熱費が上がったのを実感しています。今後の懸念はやはり消費税と固定資産税の増加。柏駅周辺の現在進行中、今後予定される再開発事業、常磐線の東京乗入れに注目しています。そして北部TX沿線の開発に伴う若い世代の人口増加を期待しています。 | 賃貸住宅満室 空きテナント無し 水道光熱費 消費税 TX沿線開発 人口増加に期待 | 不動産賃貸・管理業 |
| 下半期で取り戻したい。消費税対策が大詰め出てきそう、ただスポット対応かと思う。なかなか、サービス業(IT企業)は、最新ITが手さぐり状態と思う。 | 下半期への期待 消費税 | ソフトウェア業 | |

◎消費税

- ・ 消費税増税の予測による変化は出ていない。
- ・ 設備投資のきっかけとして、「消費税が上がる前に」という声がちらほら聞こえはじめている。
- ・ 消費税増税決定までの見極めムードあり。
- ・ 消費税増税が決まって、住宅・自動車等への投資が増えているのか？
- ・ 来年の消費税増税もにらみ先行きが不透明。
- ・ 今後の懸念はやはり消費税と固定資産税の増加。
- ・ 消費税対策が大詰め出てきそう。

◎天候の影響

- ・ 天候による影響が多少あった。
- ・ 8月の猛暑の影響か工事の進行が遅く、前年迄の9月と違い慌しさの無い9月だった。
- ・ 序盤好調に推移も、中旬3連休の台風による影響大。
- ・ 衣料品では残暑が厳しく、ジャストシーズン購入傾向が多くみられ、秋物の動きが鈍く苦戦した。15、16日は台風の影響により入店客数、売上ともに大きく落ち込みをみせたものの、以降、朝晩の気温低下にともない秋物商材が動きだしたことから売上高は盛り返した。
- ・ 悪天候の為、売上げがうまく行かなかった。
- ・ 先般の日本列島を大型台風18号が上陸縦断した影響や急な朝晩の気温低下と天候不順の状況から、一部品薄の主要品目の入荷となり単価高で取引されています。
- ・ どこまで上がるかわからない仕入れ価格の上昇と夏の猛暑で使用量が落ち込み、例年以上苦しい。

◎材料値上げ





- ・ 石油(燃料)コスト上昇にて材料が値上げ状況。
- ・ 公共工事は増加しているが、内容的に資材の値上がりと納品が間に合わない。
- ・ 石油を材料とする製品の値上げが止まらない。











平成25年9月CCI-LOBOとの比較











- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲22.5に対し、「CCI-LOBO」が▲15.1で柏の方がマイナス幅が7.4ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業、卸小売業、サービス業で、卸小売業は10ポイント以上悪い。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲13.9に対し、「CCI-LOBO」が▲6.7で、柏の方がマイナス幅が7.2ポイント大きい。「柏の景気」の方が悪い業種は建設業、製造業、卸小売業、サービス業で、卸小売業は10ポイント以上悪い。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲27.9に対し、「CCI-LOBO」が▲19.2で、柏のほうがマイナス幅が8.7ポイント大きい。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、製造業、卸小売業、サービス業で、製造業と卸小売業は10ポイント以上悪い。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲51.6に対し、「CCI-LOBO」が▲45.1で、柏の方がマイナス幅が6.5ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、製造業で、建設業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業、サービス業で、卸小売業は10ポイント以上悪い。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が△2.1に対し、「CCI-LOBO」が△7.7で、柏の方がマイナス幅が5.6ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、製造業。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、卸小売業、サービス業で、卸小売業とサービス業は10ポイント以上悪い。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲15.0に対し、「CCI-LOBO」が▲11.6で、柏の方がマイナス幅が3.4ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、製造業で、製造業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業、サービス業で、卸小売業は10ポイント以上悪い。











平成25年9月の木の景気天気図











木の景気情報と全国CCI-LOBOとの比較











| | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|
| 景気天気図 |  |  |  |  |  |
| | 特に好調 DI \geq 50 | 好調 50>DI \geq 25 | まあまあ 25>DI \geq 0 | 不振 0>DI \geq ▲25 | 極めて不振 ▲25>DI |











| 業況DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|---|--|---|---|---|
| 木の景気 |  ▲ 22.5 |  △ 7.6 |  ▲ 22.2 |  ▲ 50.0 |  ▲ 17.6 |
| CCI-LOBO |  ▲ 15.1 |  4.1 |  ▲ 16.2 |  ▲ 25.1 |  ▲ 14.7 |

| 売上DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|---|---|---|---|---|
| 木の景気 |  ▲ 13.9 |  △ 11.5 |  ▲ 16.6 |  ▲ 34.3 |  ▲ 11.7 |
| CCI-LOBO |  ▲ 6.7 |  21.3 |  ▲ 11.1 |  ▲ 16.3 |  ▲ 10.5 |

| 採算DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|---|--|---|---|---|
| 木の景気 |  ▲ 27.9 |  ▲ 11.5 |  ▲ 33.3 |  ▲ 40.6 |  ▲ 23.5 |
| CCI-LOBO |  ▲ 19.2 |  ▲ 9.9 |  ▲ 19.7 |  ▲ 25.1 |  ▲ 19.6 |

| 仕入単価DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|---|---|---|---|---|
| 木の景気 |  ▲ 51.6 |  ▲ 46.1 |  ▲ 44.4 |  ▲ 65.6 |  ▲ 41.1 |
| CCI-LOBO |  ▲ 45.1 |  ▲ 60.3 |  ▲ 46.0 |  ▲ 38.2 |  ▲ 40.4 |

| 従業員DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|--|---|---|--|---|
| 木の景気 |  △ 2.1 |  △ 19.2 |  △ 11.1 |  ▲ 9.3 |  ▲ 11.7 |
| CCI-LOBO |  △ 7.7 |  △ 23.1 |  △ 3.5 |  △ 6.5 |  △ 7.8 |

| 資金繰りDI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|---|--|---|---|---|
| 木の景気 |  ▲ 15.0 |  ▲ 3.8 |  ±0.0 |  ▲ 34.3 |  ▲ 11.7 |
| CCI-LOBO |  ▲ 11.6 |  ▲ 5.0 |  ▲ 14.0 |  ▲ 14.8 |  ▲ 11.1 |

 は「木の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

 は「木の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目

CCI - LOBO

商工会議所早期景気観測 (9月速報)

調査期間：平成25年9月12日～19日

調査対象：全国の417商工会議所が3125業種組合等にヒアリング調査を実施

全国の業況
業況DIは、回復基調続くも
足元では収益改善の遅れから
足踏み状態

9月の全産業合計の業況DIは、▲15.1と、前月から+0.6ポイントのほぼ横ばいで推移。活況が続く建設業などで売上が好調なほか、都市部を中心とする個人消費の底堅い推移を背景に、中小企業にも徐々に景気回復の実感が及び始めており、総じて回復基調にある。他方で、燃料・原材料の価格上昇や高止まり、電力料金の引き上げに伴うコスト負担増による収益改善の遅れを懸念する声も多く、足元の景況感

は足踏み状態が続いている。

先行きについては、先行き見通しDIが▲11.6（今月比+3.5ポイント）と、改善する見込み。燃料・原材料の価格上昇や高止まり、電力料金などの負担増が続く中、一部では先行きに慎重な声が聞かれる。他方で、建設業や自動車関連をはじめ、徐々に景気回復の実感が及びつつあるほか、2020年オリンピック・パラリンピックの東京招致決定を契機に、消費者マインドの一段の改

善や観光・インフラなどでの経済効果が見込まれることから、さらなる景気浮揚への期待感が高まっている。

産業別にみると、今月の業況DIは前月に比べ、サービス業で悪化、建設業、小売業でほぼ横ばい、その他の2業種で改善した。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「オリンピック・パラリンピックに向けた受注増を期待。他方で、資材価格や人件費のさらなる上昇を懸念」（一般工事業、「業績は改善しているが、消費税引き上げ前の駆け込み需要の影響が大きく、反動減への対応策が急務」（一般工事業）、「仕入価格が上昇しているものの、売上は好転。建設機械など、新規で設備投資を行った」（建築工事業）

【製造業】「燃料費や電力料金の上昇に加え、飼料代の負担も増大しており、業況は厳しい」（乳製品製造業）、「高価格帯の家具の売れ行きが好調。今後も、高品質の商品開発に注力する予定」（家具

製造業）、「円安に伴い、一部の取引先が生産を海外から国内にシフトさせており、受注が増加傾向にある」（自動車部品製造業）

【卸売業】「受注は増加傾向にあるものの、本格回復には至っておらず、計画していたベトナムへの進出に踏み切れない」（繊維品卸売業）、「消費税引き上げに伴う駆け込み需要により、受注は好調。他方で、仕入価格上昇分の価格転嫁が進まず、今後の課題となっている」（建築材料卸売業）、「海外向けの鉄を中心に出荷が回復しつつあり、売上は堅調」（刃物類卸売業）

【小売業】「高額品が堅調なほか、秋物衣料にも動きが出始めている」（百貨店）、「パート・アルバイトの募集を続けているが、求人を増やしている製造業に流れており、応募がない」（食料品スーパー）、「8月の猛暑や豪雨の影響に加え、台風の被害も大きかったことから、野菜や果物などの出荷量減少に伴う価格上昇を懸念」（商店街

）

【サービス業】「仕入価格の上昇に伴い、メニューの見直しや料金改定を実施。来店客数に影響は出ておらず、売上が伸びている」（飲食店）、「汚染水問題により宿泊のキャンセルが相次ぎ、厳しい状況」（旅館業）、「オイルなどの仕入価格が上昇しており、収益圧迫が続いている」（自動車整備業）

全国・産業別業況DIの推移

| | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸売 | 小売 | サービス |
|-----|-------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 4月 | ▲15.2 | 2 | ▲24.4 | ▲15.7 | ▲25.9 | ▲7.3 |
| 5月 | ▲17.1 | 1.6 | ▲20.7 | ▲20.4 | ▲29.1 | ▲12.8 |
| 6月 | ▲17.3 | 0.8 | ▲19.6 | ▲29.3 | ▲26.4 | ▲13.5 |
| 7月 | ▲14.1 | 6 | ▲15.8 | ▲20.7 | ▲22.8 | ▲14.4 |
| 8月 | ▲15.7 | 3.9 | ▲20.7 | ▲26.8 | ▲25.8 | ▲10.2 |
| 9月 | ▲15.1 | 4.1 | ▲16.2 | ▲20.7 | ▲25.1 | ▲14.7 |
| 見通し | ▲11.6 | 3.3 | ▲10.6 | ▲14.3 | ▲16.1 | ▲16.8 |

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI